

各 位

会 社 名 株式会社T O K A I ホールディングス
(コード番号 : 3167 東証第一部)
代 表 者 名 代表取締役社長 嶋田 勝彦
問 合 せ 先 責 任 者 常務執行役員 総務部長 小澤 博之
(TEL 054-275-0007)

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成24年1月31日に発表いたしました「平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」における記載内容について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにつきましても訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

【訂正箇所】 サマリー情報 (2) 連結財政状態

<訂正前>

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	186,035	<u>25,092</u>	13.0	<u>242.26</u>
23年3月期	—	—	—	—

<訂正後>

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	186,035	<u>25,127</u>	13.0	<u>242.61</u>
23年3月期	—	—	—	—

【訂正箇所】 3ページ (2) 連結財政状態に関する定性的情報

<訂正前>

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は186,035百万円となりました。内訳は流動資産が41,584百万円、固定資産が144,264百万円、繰延資産が185百万円であります。

負債合計は160,943百万円となりました。内訳は流動負債が84,643百万円、固定負債が76,299百万円であります。このうち社債及び借入金が流動負債に55,051百万円、固定負債に57,893百万円含まれております。

純資産合計は25,092百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間において、剰余金の配当により利益剰余金が282百万円、資本剰余金が733百万円それぞれ減少しております。

この結果、自己資本比率は、13.0%となりました。

〈訂正後〉

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は186,035百万円となりました。内訳は流動資産が41,584百万円、固定資産が144,264百万円、繰延資産が185百万円であります。

負債合計は160,908百万円となりました。内訳は流動負債が84,608百万円、固定負債が76,299百万円であります。このうち社債及び借入金が流動負債に55,051百万円、固定負債に57,893百万円含まれております。

純資産合計は25,127百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間において、剰余金の配当により利益剰余金が282百万円、資本剰余金が698百万円それぞれ減少しております。

この結果、自己資本比率は、13.0%となりました。

【訂正箇所】 3ページ (キャッシュ・フローの状況)

〈訂正前〉

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首から4,036百万円減少し、4,105百万円となりました。

営業活動により得られた資金は17,791百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が4,018百万円でありましたが、減価償却費及びのれん償却額等非資金項目により資金が増加したことに加え、仕入債務の減少による資金の減少を売上債権や棚卸資産の減少により補ったことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は7,590百万円となりました。これは、主として有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は14,236百万円となりました。これは、主として社債の償還及び長期借入金の返済等により有利子負債の圧縮に努めたことによるものであります。

〈訂正後〉

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首から4,036百万円減少し、4,105百万円となりました。

営業活動により得られた資金は17,756百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が4,018百万円でありましたが、減価償却費及びのれん償却額等非資金項目により資金が増加したことに加え、仕入債務の減少による資金の減少を売上債権や棚卸資産の減少により補ったことによるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は7,590百万円となりました。これは、主として有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は14,201百万円となりました。これは、主として社債の償還及び長期借入金の返済等により有利子負債の圧縮に努めたことによるものであります。

<訂正前>

(単位：百万円)

		当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金		11,862
短期借入金		51,461
1年内償還予定の社債		3,590
未払法人税等		709
引当金		68
その他		16,951
流動負債合計		<u>84,643</u>
固定負債		
社債		9,950
長期借入金		47,943
引当金		1,945
その他		16,461
固定負債合計		<u>76,299</u>
負債合計		<u>160,943</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金		14,000
資本剰余金		21,833
利益剰余金		244
自己株式		△11,224
株主資本合計		<u>24,853</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		△537
繰延ヘッジ損益		△105
その他の包括利益累計額合計		<u>△642</u>
新株予約権		330
少数株主持分		551
純資産合計		<u>25,092</u>
負債純資産合計		<u>186,035</u>

<訂正後>

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	11,862
短期借入金	51,461
1年内償還予定の社債	3,590
未払法人税等	709
引当金	68
その他	16,916
流動負債合計	84,608
固定負債	
社債	9,950
長期借入金	47,943
引当金	1,945
その他	16,461
固定負債合計	76,299
負債合計	160,908
純資産の部	
株主資本	
資本金	14,000
資本剰余金	21,868
利益剰余金	244
自己株式	△11,224
株主資本合計	24,888
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△537
繰延ヘッジ損益	△105
その他の包括利益累計額合計	△642
新株予約権	330
少数株主持分	551
純資産合計	25,127
負債純資産合計	186,035

〈訂正前〉

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,018
減価償却費	10,581
のれん償却額	2,787
減損損失	47
受取利息及び受取配当金	△130
支払利息	1,398
固定資産売却損益 (△は益)	△4
投資有価証券評価損益 (△は益)	239
固定資産除却損	854
売上債権の増減額 (△は増加)	863
たな卸資産の増減額 (△は増加)	623
仕入債務の増減額 (△は減少)	△786
その他	△321
小計	<u>20,171</u>
法人税等の支払額	△2,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>17,791</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
利息の支払額	△1,358
短期借入金の純増減額 (△は減少)	75
リース債務の返済による支出	△2,118
長期借入れによる収入	12,750
長期借入金の返済による支出	△20,197
社債の償還による支出	△1,840
自己株式の増減額 (△は増加)	△0
その他	△1,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△14,236</u>

<訂正後>

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,018
減価償却費	10,581
のれん償却額	2,787
減損損失	47
受取利息及び受取配当金	△130
支払利息	1,398
固定資産売却損益(△は益)	△4
投資有価証券評価損益(△は益)	239
固定資産除却損	854
売上債権の増減額(△は増加)	863
たな卸資産の増減額(△は増加)	623
仕入債務の増減額(△は減少)	△786
その他	△356
小計	<u>20,135</u>
法人税等の支払額	△2,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>17,756</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	
利息の支払額	△1,358
短期借入金の純増減額(△は減少)	75
リース債務の返済による支出	△2,118
長期借入れによる収入	12,750
長期借入金の返済による支出	△20,197
社債の償還による支出	△1,840
自己株式の増減額(△は増加)	△0
その他	△1,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△14,201</u>

【訂正箇所】 10 ページ (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

<訂正前>

当社は平成23年4月1日に株式会社ザ・トーカイと株式会社ビック東海(平成23年10月1日付けをもって株式会社TOKAIコミュニケーションズに商号変更)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は14,000百万円、資本剰余金は21,833百万円、利益剰余金は244百万円となっております。なお、発行済株式数は155,199千株となっております。

<訂正後>

当社は平成23年4月1日に株式会社ザ・トーカイと株式会社ビック東海(平成23年10月1日付けをもって株式会社TOKAIコミュニケーションズに商号変更)が経営統合し両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金は14,000百万円、資本剰余金は21,868百万円、利益剰余金は244百万円となっております。なお、発行済株式数は155,199千株となっております。

以上